

令和4年6月30日

事業実績

平成29年度～令和3年度

国立市
子ども家庭支援センター

所在地 国立市富士見台3-21-1

電話 042-573-0192・FAX 042-574-5841

国立市子ども家庭支援センター

国立市子ども家庭支援センターは、子どもと家庭についてのあらゆる相談に応じます。

保護者からはもちろん、お子さん自身からの相談にも対応します。内容によって、子育て支援サービスの紹介や利用支援、子育て支援関係機関との連絡調整などを行っています。

また、親子が自由に交流できる「子育てひろば」の提供や各種子育て講座を開催しています。



国立市の状況（令和4年1月1日現在）

面積	8,157.0平方メートル	認可保育所	20所
世帯数	38,957世帯	公立小学校	8校
総人口	76,317人	公立中学校	3校
児童数	10,367人	民生委員・児童委員	52名
		主任児童委員	4名

（世帯数から児童数まで：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（総務局）R4.1.1現在）

1. 事業内容

(1) 総合相談事業

18歳未満のお子さんとその家庭に関するあらゆる相談をお受けします。お子さんご自身からの相談にも対応します。身近な子育ての悩みから虐待などの深刻なケースまで総合的に対応します。

(2) 子育てひろば事業

子育て中のご家庭が気軽に集える場所を提供しています。子育て中の親子が相互交流をしたりスタッフに気軽に相談をすることができます。また、さまざまな講座の開催や、情報誌の発行をしています。

(3) 子育て講座及び子育てグループ育成・支援事業

地域における子育てサークル、同月齢児のグループ等の活動支援やボランティアの育成を行っています。また、子どもの年齢別や地域向けの講座を開催しています。

(4) 子どもショートステイ事業

保護者が病気や出産、家族の介護、冠婚葬祭などの理由で、一時的に子どもを養育することが困難になったとき、市内の施設で宿泊または日帰りにより、お子さんを預かります。

【委託先:生長の家神の国寮 施設名:ショートステイホーム・おひさま】

(5) 一時保育支援事業

保護者の短時間の就労や病気、リフレッシュなどで一時的にお子さんに保育が必要なときに、保育園でお預かりします。

【実施園:国立あゆみ保育園、国立保育園。市から補助金交付】

(6) 育児支援サポーター派遣事業

安定した子育てができるよう、産前産後のご家庭にサポーターを派遣して、育児や家事をお手伝いします。

(7) ファミリー・サポート・センター事業

地域の子育ての助け合いを行う会員制の事業です。お子さんを預けたい方に子育てのお手伝いしたい人を紹介し、保育施設等への送迎や預かり等をサポートします。

(8) 子ども家庭支援ネットワーク連絡会(要保護児童対策地域協議会)

虐待の防止や通告などに対応します。また、子どもと家庭を総合的に支援するために、関係機関とネットワークを作り対応しています。

(9) 養育家庭制度の普及・啓発事業

養育家庭の拡充のため、都和協力して養育家庭体験発表会を開催するなど養育家庭制度の普及・啓発活動を行っています。

(10) 子ども家庭支援センター運営協議会

センターの運営その他必要な事項を協議するため、市民・民間団体及び関係行政機関等を構成者とした運営協議会を設置しています。本協議会では、センターの基本的な活動内容及び運営方法について協議します。

(11) 地域子育て支援拠点事業

子育て中の家庭が、気軽に集い交流や育児相談・情報提供を受けることができる場を設置します。

【委託先:NPO 法人くにたち農園の会 事業名:つちのこひろば】

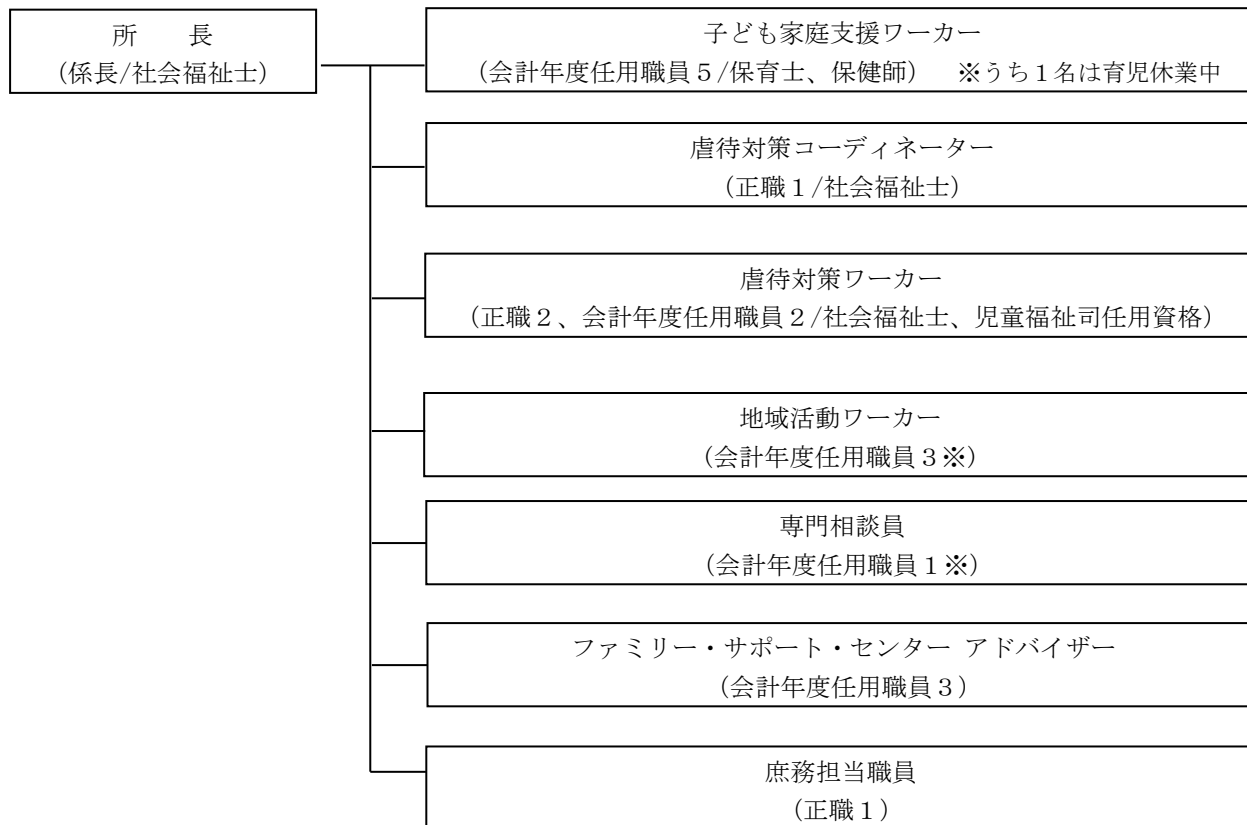
(12) その他

2. 沿革

平成15年 8月	国立市子ども家庭支援センター事業開始
11月	国立市子ども家庭支援センター運営協議会第1回会議開催
12月	国立市産後支援サポーター派遣事業開始 (平成20年6月国立市育児支援サポーター派遣事業に名称変更)
平成16年11月	国立市ファミリー・サポート・センター事業開始
平成20年 2月	国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会(要保護児童対策地域協議会) 第1回代表者会議開催
6月	「従来型子ども家庭支援センター」から「先駆型子ども家庭支援センター」へ移行
平成23年10月	国立市子どもショートステイ事業開始
平成24年	虐待対策コーディネーターを配置
平成28年 4月	虐待対策ワーカー1名増員
平成28年 9月	子どもショートステイ日帰り型導入

3. センター人員体制

※令和4年4月1日時点



(※は、子ども家庭支援ワーカーが兼務)

4. 事業実績

(1) 総合相談事業

<相談受理事件数>

(件)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
養護相談	287	461	456	453	369
保健相談	3	1	1	0	0
障害相談	7	8	11	0	5
非行相談	3	3	4	2	1
育成相談	223	171	129	148	41
その他相談	1	3	1	4	4
問合せ等	173	118	230	302	298
合計	697	765	832	909	718

(2) 子育てひろば事業

<子育てひろば利用者数>

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開所日数(日)	293	292	290	235	293
利用延人数(人)	10,594	9,787	9,975	4,656	4,367
(内父親利用延人数)	319	350	338	180	166

利用は午前または午後のどちらか2時間まで、各回定員20人の入れ替え制(事前予約制)。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、次のとおり開所方法を変更した。

令和3年8月27日～9月30日及び令和4年1月20日～3月31日 各回定員10名に変更。

令和4年2月12日～3月19日 ひろばを5つに区切り、1家族1スペースでの利用に変更。

<ひろば主催事業>

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数(回)	1	1	1	1	1
参加人数(人)	180	190	55(悪天候)	138	72

令和3年度:「子育てひろば お楽しみDAY」

〈開催方法〉各回定員20人の事前予約制、1家族1回限りの参加

〈日時〉令和3年12月16日(木)～12月17日(金)

午前:10時30分～11時00分 午後:2時00分～2時30分

〈出演・内容〉ヤクルト:歌遊び、大型絵本の読み聞かせ

スマイルホーンズ:トロンボーンとトランペットを使った親子で楽しめる演奏、音遊び

カンタービレ:世界の言葉を使った歌や音遊び

※当初9月に開催を予定していた「子育てひろばお楽しみweek2021」が新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み中止となったが、ひろば利用者から開催希望の声が多数あったことから、12月に開催した。

<ヤクルト共同事業「ヤクルトミニお楽しみ会」>

乳幼児とその保護者を対象に、手遊びや読み聞かせなどの親子で楽しめるミニイベントを開催。

①子育てひろばでの開催(月1回開催)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	20	18	18	18	14	中止	12	20	20	19	11	11	181

※9月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

②出前講座での開催

地域グループ活性化を目的として1回開催し、15組32人の参加があった。

<抱っこひもミニ講座>

理学療法士に、簡単な講話と実際の抱っこひもの装着状況の確認をしていただき、より安全で身体に負担のない装着方法を学ぶ講座を開催。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	6	13	11	8	10	10	12	12	8	10	中止	8	108

※1回3組の定員で1日2回開催。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月は中止、3月は個別開催とした。

<国立市消防団女性団員による防災・安全ミニ講座>

国立市消防団の女性団員を講師に、防災や安全に関する知識を子育て世代の保護者に伝えるミニ講座を開催。

開催月	6月	10月	11月	3月	合計
内容・テーマ	異物を飲み込んだ時の応急処置	火傷の危険・応急処置	パパのための安全ミニ講座	救急車の呼び方、熱性けいれんなど緊急時の対応	
参加人数(人)	10	12	15	6	43
女性団員(人)	3	4	4	2	13

<栄養士ミニ講座>

子ども保健・発達支援係の管理栄養士を講師に、離乳食や食事について学び、質問できるミニ講座を開催。

開催月	7月	10月	12月	2月	合計
対象	離乳食後期(生後7か月過ぎの子ども)の保護者	完了期(生後11か月過ぎの子ども)の保護者	離乳食後期(生後7か月過ぎの子ども)の保護者	完了期(生後11か月過ぎの子ども)の保護者	
テーマ	パクパク3回食	モリモリ幼児食	パクパク3回食	モリモリ幼児食	
参加人数	10	14	16	6	46

※2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため個別開催。

<助産師相談>

気軽に集える子育てひろばで助産師から専門的な助言を受け、保護者が子どもの状況を見極め、親として成長していく力をつかむことができるよう支援する助産師相談を月に1回実施。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	3	3	4	5	3	4	5	5	4	3	5	5	49

※このほか、来所が難しい家庭に助産師が訪問し相談対応を行う訪問相談を1回実施。

<ひろばミニ説明会>

ひろばを初めて利用する人を対象に、ひろば利用や地域の子育て情報などを案内。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数(回)	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5
参加組数(組)	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	6

<子育て情報提供事業>

①主な子育て情報誌

『ぼかぼか』毎月発行 年間8,180部

『一人でがんばらないで』年間1,540部発行

『市内・市外一時保育サービスの紹介』年間1,500部発行

『園庭開放』(前期・後期)年間1,600部発行

②インターネットの活用

国立市ホームページ、子育てアプリ等に情報を掲載し市民へ周知。

(3) 子育て講座及び子育てグループ育成・支援事業

<子育て講座・子育て講演会の開催>

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数(回)	21	15	9	11	10
参加者数(人) (保育人数含む)	342	406	211	236	166

①子育て講座・子育て講演会

開催月	講座名	対象	参加人数(人)
7月	産後ママの身体のケア講座	出産後2か月～6か月の母親とその子ども	16
8月	親子であそぼう！！～ママと一緒に1・2・3～	2歳～3歳の子どもとその保護者	17
9月	気持ちを軽くする、子育てのヒント	生後2か月～7か月の子どもとその保護者	20
10月	イライラしたらどうしたらいい？ 子育て中父母間のアンガーマネジメント講座	18歳までのお子さんのいる保護者、子どもに関わる関係者	8
11月	産後ママの身体のケア講座	出産後2か月～6か月の母親とその子ども	20
2月	イライラしたらどうしたらいい？ 親子間のアンガーマネジメント講座	18歳までのお子さんのいる保護者、子どもに関わる関係者	6
3月	気持ちを軽くする、子育てのヒント	生後2か月～7か月の子どもとその保護者	10
合計			97

②保育付講座

(人)

開催月	講座名	対象	参加人数	保育人数
10月	子どものほめ方、しかり方を学ぶ	1歳～2歳児を持つ保護者	9	9
11月～12月	CARE(ケア)に学ぶ～子どもとのよりよい関係を築くために～【連続3回講座】	子育て中の大人又は子どもと接する機会のある大人(子どもの年齢が2歳以上で言葉でのコミュニケーションが可能、3回とも参加できる方)	26	8
1月	イヤイヤとどう付き合う？ 子どもとの関係を育てるコミュニケーション	1歳～2歳児を持つ保護者	中止	
合計			35	17

③パパ講座

開催月	講座名	対象	参加人数(人)
10月	パパと一緒にあそぼう！！	2歳～3歳の子どもと父親	17
2月	家族を守る防災講座～知って、備えて、子どもの命を守れるパパになろう～	0歳～3歳の子どもと父親(家族)	中止
合計			17

<子育てグループの育成・支援>

①地域での子育てひろば開催

開催月	開催名称	開催場所	対象	参加人数(人)
4月	出張子育てひろば	北市民プラザ	未就園児の親子	22
7月		青柳福祉センター		中止
12月		北市民プラザ		32
3月		東地域防災センター		9
合計				63

②ふたご交流会

多胎児の親子・妊婦に参加を呼びかけ、交流を支援。

開催月	6月	8月	10月	2月	合計
参加人数(人)	8	中止	5	中止	13

③月齢グループ

生後5か月～6か月の子どもと保護者を対象に、グループ作りと活動を支援。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数(回)	1	2	1	2	1	2	2	2	2	1	1	3	20
参加組数(組)	7	11	4	12	7	11	16	15	12	4	4	15	118

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1月1回分は3月に延期し、2月1回分は中止した。

④地域グループ

市内各地域で自主的に活動している地域グループに対し、延べ7回支援。

<子育てボランティア育成と交流>

子育て中のママをサポートする先輩ママ「ピアママ」の活動を支援。

ピアママ登録者 12人

活動日	場所	内容	参加人数(人)
令和3年 12月16日～17日	子ども家庭支援センター	リサイクルミニフェア の準備、片付け、受付	4

(4) 子どもショートステイ事業(委託先:生長の家神の国寮 ショートステイホーム・おひさま)

保護者が病気や出産、家族の介護、育児疲れ等で、一時的に子どもを養育することが困難となった場合に、市が委託した法人が運営する施設において、宿泊または日帰りにより養育する事業。

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用 延人数	宿泊(人)	106	98	146	147	145
	日帰り(人)	153	317	197	386	158

(5) 一時保育事業(実施園:国立あゆみ保育園、国立保育園)

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一日利用延人数(人)		2,693	2,591	2,191	1,712	2,039
半日利用延人数(人)		625	879	632	382	464
合計		3,318	3,470	2,823	2,094	2,503

※令和4年4月から、国立ひまわり保育園から国立保育園に事業移行。

(6) 育児支援サポーター派遣事業

<サポーター登録者数、依頼者数および活動回数>

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
サポーター登録数(人)	95	107	113	105	116
派遣申請者数(人)	68(2)	65	69(4)	60(4)	62(5)
活動回数(回)	168(0)	245(0)	416(179)	145(32)	336(169)

※()内は要支援家庭

<育児支援サポーター講習会>

開催日：令和3年9月16日(木)・17日(金)

内容：講義(育児支援サポーターとは、保健センターの役割、産前から産後の母子との関わり)、沐浴実習、助産師による講話、サポーターの心得と配慮、登録手続きなど。

受講者：10人

<育児支援サポーターフォローアップ講習会>

開催日：令和3年12月15日(水)

内容：「アサーティブネスってなに?～ハッピー・コミュニケーション うまく気持ちを伝えるには～」

受講者：12人

(7) ファミリー・サポート・センター事業

<会員数および活動状況>

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
会員数	支援会員(人)	169	184	188	195	203
	利用会員(人)	943	979	981	1,075	1,149
	両方会員(人)	18	16	16	18	19
活動	活動件数(件)	3,514	2,640	2,467	1,486	1,684
	延べ時間(時間)	5,186	3,886	3,650	2,195	2,482

※令和2年4月より、利用児童の対象年齢を「10歳まで」から「12歳まで」に引き上げ。

<ファミリー・サポート・センター支援会員研修会>

開催月：①令和3年7月 受講者：9人 登録者：6人

②令和3年11月 受講者：8人 登録者：7人

内容：講義(乳児期から学童期までの保育、預かるときの配慮、子どもの成長と遊び、応急救護について)、会員体験報告など。

<ファミリー・サポート・センター支援会員・利用会員交流会>

開催日：令和3年10月4日(月)

内容：「気功でリフレッシュ! ゆったりとした動きで体調をととのえよう」

参加者：8人

<ファミリー・サポート・センター広報活動>

令和3年5月及び9月に会員情報誌「うめちゃんだより」を発行し、ファミリー・サポート・センター事業の活動状況や予定について会員に周知。

<新型コロナウイルス感染症対策>

育児支援サポーター派遣事業のサポーター及びファミリー・サポート・センターの支援会員が支援活動を行う際に、新型コロナウイルス感染症拡大防止を含め、衛生上の対策を講じて支援を行う必要があることから、使い捨てビニール手袋や不織布マスク等を購入しセットにして配布。

(8) 子ども家庭支援ネットワーク連絡会（要保護児童対策地域協議会）

1) 児童虐待対応状況

(件)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
虐待対応件数	132	224	172	189	290	
新規	100(8)	166(24)	101(9)	114(7)	177(21)	
前年度から継続	32	58	71	75(1)	113(0)	
種別	身体的	40	62	45	53	79
	心理的	68	112	100	111	170
	性的	3	0	1	2	0
	ネグレクト	13	26	17	23	41
	その他	0	0	0	0	0
年齢別	未就学児	48	87	75	75	106
	小学生	52	72	66	81	127
	中学生	17	25	17	21	30
	高校生	7	16	5	10	22
	不明	0	0	0	2	5

※ () 内は非該当件数。

2) 国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会会議

- ①代表者会議 年1回開催（書面開催）
- ②実務者会議 年3回開催（5月27日・10月21日・書面開催）
- ③点検作業会 年3回開催（5月13日・10月7日・1月13日）
- ④個別ケース会議 33回実施

3) 児童虐待等の早期発見及び支援のための市内公立小中学校・認可保育園他との連絡会等

- ①公立小中学校11校×上半期・下半期 計22回実施
- ②認可保育園等21園×上半期・下半期 計42回実施

4) 認可保育園保育士・幼稚園教諭向け研修

早期の段階からの児童虐待防止の視点を養うため、保育園保育士と幼稚園教諭向けの研修会
 実施日：令和4年3月23日（水）
 テーマ：「子どもたちを虐待から守るために～精神疾患等の病気を持つ保護者への対応・支援について～」
 場 所：くにたち市民体育館2階会議室
 講 師：蓮田 秀昭（医療法人社団根岸病院 医師）
 参加者：13人

5) 学童保育所職員向け研修

実施日：令和4年2月22日（火）
 テーマ：「子ども達を虐待から守るために」
 場 所：本町学童保育所
 講 師：川松 亮（明星大学人文学部福祉実践学科 教授）
 参加者：17人

6) 国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会主催講演会

実施日：令和4年2月25日（金）
 テーマ：「ヤングケアラーへの支援を考える」
 場 所：国立市役所3階 第1・2会議室
 講 師：堀越 栄子（一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事）
 参加者：来場18人、Youtube視聴19人

7) 国立市子ども家庭支援ネットワーク研修

要対協の連携体制の強化と児童虐待の早期発見や早期対応、対応能力の向上を図ることを目的とした、庁内外の職員対象の研修会。

	実施日	テーマ	講師	参加人数(人)
第1回	令和3年 6月24日	「子ども家庭支援センターのソーシャルワーク」	北区子ども家庭支援センター 石井 晃芳	17
第2回	令和3年 7月29日	「SOGIって何？性の多様性と子どもとの関わりについて」	男女平等参画ステーション パラソル 木山 直子	16
第3回	令和3年 8月12日	「市町村における特定妊婦の支援と関係機関の連携」	武蔵野大学看護学部 教授 中板 育美	13
合計				46

8) 四者協（国立市児童委員・児童相談所・学校・子ども家庭支援センター）主催による地区連絡協議会
※令和3年度は中止。

9) 乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の緊急把握の実施

厚生労働省が全国都道府県に依頼している乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の状況把握の調査。国立市においても毎年調査し、例年、子ども保健・発達支援係と教育委員会等から情報提供等を受けて、小学校修了前の全児童の所在が確認されている。

10) 児童虐待防止推進月間（11月）の取り組み

啓発活動の一環として、令和3年度は下記の取り組みを実施。

- ①Wリボン（児童虐待防止のオレンジリボンと女性に対する暴力をなくす運動のパープルリボン）に関するパネル展示を、旧国立駅舎と本庁ロビーで実施。旧駅舎ではメッセージを募集のほか、一橋大学の学生が作成したDVに関連する動画を上映。
- ②旧国立駅舎を2つの運動を象徴する色であるオレンジ色と紫色に、日替わりでライトアップ。
- ③市報くにたち（令和3年11月5日号）に児童虐待とDV防止に関する記事を掲載。

11) ママのリラックスタイム「ママリラ」

子どもにイライラしたり、母自身や家族に困難さを抱え、子育てに悩む母親を支援するためのグループ、MCG（Mother and child Group）を行っている。

- 令和3年度実施日：① 5月17日 参加者：2人 ② 7月30日 参加者：1人
③ 9月28日 参加者：2人 ④11月17日 参加者：1人
⑤ 3月31日 参加者：3人

講師：広岡 智子（子どもの虐待防止センター相談員）

12) 児童虐待防止印刷物の作成

令和2年度に改訂した関係機関向けの「児童虐待防止マニュアル」を関係機関へ配布し、また、300部増刷した。

(9) 養育家庭制度の普及・啓発事業

立川児童相談所との共催で実施している、養育家庭制度（ほっとファミリー）の普及・啓発と新規養育家庭の開拓を行うための事業。

1) 養育家庭体験発表会

社会的養護の担い手としての養育家庭を身近な存在と認識する機会として、地域住民を対象に養育家庭の生の声を聴く会を開催。

開催日：令和3年11月20日（土）

場 所：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

内 容：養育家庭制度について、里親里子の体験発表

参加者：32人

2) 養育家庭普及啓発DVD上映会

養育家庭の普及・啓発の一環として、DVD上映会と養育家庭の相談会を開催。

開催日：令和4年3月12日（土）

場 所：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

内 容：制度説明、DVD『ありがとう、おかん』の上映、立川児童相談所による相談会

参加者：3人

(10) 子ども家庭支援センター運営協議会

子ども家庭支援センターの運営その他必要な事項を協議するために設置。2年任期で各期6～7回程度協議会を開催している。現在10期目。

委員構成：学識経験者2名、主任児童委員（又は民生児童委員）1名、立川児童相談所職員1名、

市内の子どもに関する団体の関係者1名、小学校児童の保護者1名、中学校生徒の保護者1名、

幼稚園及び保育所の園児の保護者1名、子育て中の市民2名、計10名

第1期（任期）平成15年11月28日～平成17年11月27日

第10期（任期）令和4年4月1日～令和6年3月31日

(11) 地域子育て支援拠点事業（委託先：NPO法人くにたち農園の会「つちのこひろば」）

市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的に実施する事業。

1) 事業運営

①事業名 つちのこひろば

②委託先 特定非営利活動法人くにたち農園の会

③実施場所 国立市谷保5119（やぼろじ内）

④実施日時 毎週火・水・金・土曜日 午前10時00分～午後3時00分

2) 親子の居場所事業

①令和3年度実施日数 196日

②令和3年度延べ利用者数 3,868人

3) 子育て相談事業 (件)

相談の種別	件数
コロナ禍における保育園や幼稚園の対応について	16
子どもの発達について	12
子育てしながら働くことについて	4
コロナ禍での妊娠・出産・子育てへの不安について	3
家族関係（配偶者、義理の親）について	3
その他	5
合計	43

4) 子育て情報収集・提供事業

①市内外の子育て支援団体や子どもの居場所活動、男女平等参画に関わる市民活動等の配布物を収集し、施設内にコーナーを設け、利用者へ紹介した。

②ひろばのパンフレットを500部、カレンダーを毎月120部それぞれ発行し、市内公共施設や市民活動団体、近隣のカフェや商店等へ配布した。

③毎月のカレンダーや毎週のスケジュール、活動内容等をFacebookやInstagramに投稿した。

5) 活動支援・体験型事業

① 定期開催の企画

開催曜日	企画名	実施回数 (回)	参加人数 (人)
水曜日	ちえさんのわらべうた (わらべうた)	14	207
	さーやんの遊びの時間 (表現)	12	184
	まほさんのおとさんぼ (音楽)	12	173
	まいちゃんの絵本のじかん (読み聞かせ)	5	70
金曜日	かたかたことこと風のへや	12	131
	はたけんぼであそぼう	7	138
土曜日	離乳幼児食講座	12	107
	かっかの台所 (食事作りのヒント)	11	150
	子どもの成長をうながすタッチケア講座 (心身の調整)	10	99
	わらくらさんがやってくる! (わらべうた)	10	98
合計		105	1,357

② 特別な企画

開催日	企画名	参加人数 (人)
4月23日	子どもの世界を広げるおもちゃの世界	16
5月29日・10月30日	どうぞの日 (無料バザー)	144
6月11日	じゃが芋ほり@みんな畑	28
6月30日	子どもの歯育て講座	21
8月6日	カンナくずで遊ぼう!	15
8月20日	プチ夏まつり	37
8月27日	お絵かき大会	14
9月3日	ママ目線で備える防災	9
9月29日	太鼓であそぼう	19
10月8日・11月12日	ママのホッとじかん (子育て相談)	6
10月22日	おもちゃから広がる遊びの世界	8
12月1日	谷保天満宮へおさんぼ (地域おさんぼ企画)	8
1月14日・3月11日	編み部 (ママ部活)	24
1月29日	廃材で遊ぼう	14
2月19日・3月19日	電車あそびのじかん	25
3月4日	畑びより「じゃが芋の植え付け」	13
合計		401

6) 出張ひろば事業

実施曜日	企画名	回数	参加人数
火曜日	城山で遊ぼう!	40回	1,633人

7) その他事業

開催日	企画名	参加人数
12月10日	ごろごろハイハイスキンシップ体操	16人

(12) その他

1) 赤ちゃん・ふらっと整備事業

「赤ちゃん・ふらっと」とは、小さなお子さんを連れた方が安心してお出かけできるよう整備された、授乳やおむつ替え等ができるスペースの愛称。

公共施設	民間事業所	
子ども家庭支援センター 市役所 公民館 くにたち中央図書館 中央児童館 西児童館	nonowa国立EAST（北） 国立ミュージカルスタジオun-even（東） 足もみKMR（東） アブサラクリコ国立（中） くにたち夢ファームJikka（西） かふえ カサムシカ（西） コミュニティカフェ ネウボラ（西） ※現在休止中	たまりば ^{そら} 宙（富士見台） 藍整骨院（富士見台） 石電（富士見台） 生長の家神の国寮（富士見台） ライフタイム国立デイサービスセンター（富士見台） やほ駅前鍼灸整骨院（富士見台） つちのこや（谷保） 千丑茶屋（谷保）

2) 3人乗り自転車リサイクルインフォメーション事業

一般家庭で不用になった幼児2人同乗用自転車を利用したい市民に対して市があっせんする事業。

あっせんの対象となる3人乗り自転車には一定の基準があり、それを満たすものを無料であっせんしている。

令和3年度あっせん台数：0台

3) 幼児同乗用自転車貸出事業

平成27年度に東京国立白うめロータリークラブより寄贈された幼児同乗用自転車の子育て世帯に貸し出す事業。令和3年度は3台の返却があり、申し込みがあった11名の市民の中から抽選で3名の市民へ貸し出した。

貸出自転車数：8台（幼児1人同乗用3台、幼児2人同乗用5台）

4) 子育て用品リサイクル・リンク事業

子育て環境の充実を図ることを目的に、家庭で着られなくなった子ども服を提供してもらい、必要な方へ無償で提供する事業。

令和3年度は日々提供するほかに、12月16日（木）～17日（金）の期間、子ども家庭支援センターで「リサイクルミニフェア」を開催。

令和3年度延利用人数：552名

設置場所と取扱い時間：子ども家庭支援センター 午前 8時30分～午後5時00分 月曜～土曜
：中央・西・矢川児童館 午前 9時30分～午後6時00分 月曜～土曜
：つちのこひろば 午前10時00分～午後3時00分 水曜～土曜

5) 子育て応援寄附付き自動販売機の設置

市と包括連携協定を締結している西都ヤクルト販売株式会社の協力により、売り上げの一部を子育て応援寄附として市の子育て支援事業に活用させていただき自動販売機をセンター敷地内に設置。

令和3年度寄附金額

(円)

月	寄附金額	月	寄附金額
4月	3,805	10月	5,145
5月	3,445	11月	3,385
6月	3,617	12月	3,429
7月	5,800	1月	3,673
8月	3,981	2月	1,944
9月	5,480	3月	3,951

合計 47,655円